

マエダちひろさん 期待します

「米兵による女性への性暴力許さない」と「フラワーデモに参加(左はタカラさちかさん)」



衆院議員
赤嶺政賢



県知事
玉城デニー



大宜味村長
友寄景善



県議
比嘉みずき



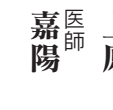
参院比例
白川よう子



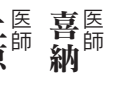
参院議員
高良鉄美



参院議員
伊波洋一



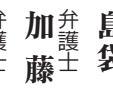
医師
嘉陽



医師
上原



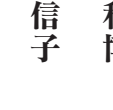
医師
喜納



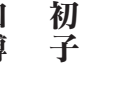
医師
山里



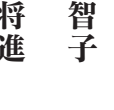
医師
上原



医師
信子



医師
和博



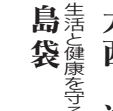
医師
初子



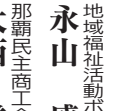
医師
将進



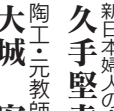
医師
智子



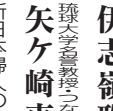
医師
裕



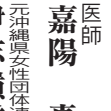
医師
義久



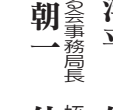
医師
修



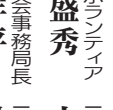
医師
真美



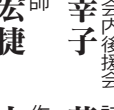
医師
比嘉



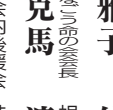
医師
朝一



医師
悠花



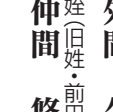
医師
悠花



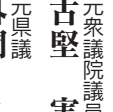
医師
悠花



医師
悠花



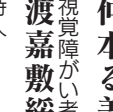
医師
悠花



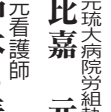
医師
悠花



医師
悠花



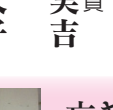
医師
悠花



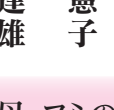
医師
悠花



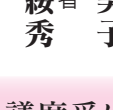
医師
悠花



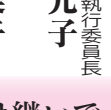
医師
悠花



医師
悠花



医師
悠花



医師
悠花



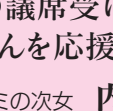
医師
悠花



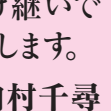
医師
悠花



医師
悠花



医師
悠花



医師
悠花

ちひろのあゆみ

両親の背中をみて

私が幼かった頃、父は那覇民商で働き、あまり家にいなかった記憶があります。母から「お父さんは商売人の苦勞を聞きながら、解決しているのよ」と話を聞きました。



愛情たっぷりに育てられ

私の祖父母(故人)は、大宜味村出身の前田福政(元JA沖縄信連常務)、前田初枝(丸国マーケット)、宮古島出身の福里文夫(元県教育長・元県高野連会長)、福里重子(元小学校教員)です。両親が忙しいなか、祖父母の愛情をたっぷり受けて育ちました。

平和運動が活動の原点

「ひめゆり同窓会」の宮良ルリ先生は私の小学の時の恩師です。沖縄戦の悲惨な体験の話は今でも脳裏に残っています。

私は、両親に連れられ「ガマ」での体験学習や、沖縄民医連で平和ガイドや原水爆禁止行進団を団長として取り組みました。

協同病院につとめ、共産党に入党

沖縄民医連(沖縄協同病院)に勤め、平和を守ることと命を守ることがつながら、「弱いものいじめの政治を変えたい」と日本共産党に入りました。

略歴 ●1971年(昭和46年)生まれ。上田小・伊良波中・豊見城南高・沖縄大学卒。●JA沖縄信連臨時職員、沖縄民医連・沖縄協同病院に勤務。●2008年11月那覇市議補選で当選(5期)。厚生経済委員長、沖縄県後期高齢者医療広域連合議会議員を歴任。●母・芙美子(旧姓・福里、宮古島出身、新日本婦人の会本部元会長)、父は故前田政明(元県議・市議。大宜味村出身)。

沖縄民報

2025年6月7日号外 発行・沖縄民報社 日本共産党は那覇市議選の予定候補者と見解を発表しました 那覇市前島3の1の17 喜久山ビル3階 電話098(869)8108

7月20日
市議選

くらしと営業を応援

市議会議員

マエダ ちひろ

- 消費税5%で年12万円の減税を
- 大幅賃上げと医療・介護の危機打開
- 命どう宝——戦争の心配のない沖縄を



参院沖縄
タカラ
さちか

日本共産党

オール沖縄で力あわせてがんばります

亡き母・フミの議席受け継いできたマエダさんを応援します。

故瀬長亀次郎・フミの次女 内村千尋

ご相談は☎098(894)6584 樋川1-1-68池原ビル1階

積極的提案で市政動かす マエダちひろ

沖縄協同病院出身
市民のいのちを守る女性市議

- 国保税1世帯1万円減税
- 介護保険の負担軽減

貧困から子どもたちを守る人

- 小学校と保育所などの給食費無償化

子ども医療費
中学卒業まで窓口無料

「子育ての大きな不安の一つに、子どもの病気があります。子ども医療費の心配をなくすことは、大きな子育て支援」(2011年8月議会)——署名運動を力に、私は何度も質問し、一歩ずつ拡充してきました。

妊婦健診の拡充

「経済的に苦しい産婦の負担軽減のために公費負担で実施すべき」(2008年12月議会)——私が初質問で取り上げた時は、

妊婦健診回数は5回で、自己負担が2000円でした。今では回数が14回で公費負担に。産後の心身のケアを行う産婦健診への費用助成も実現。

小中学校トイレへ
生理用品設置

「トイレトーパーと同じように、学校や公共施設に生理用品の配置を」(2021年6月議会)とくり返し求めて実現。

レインボー条例の制定や、同性婚、夫婦別姓の実現などジェンダー平等社会へ全力。

難聴高齢者の
補聴器購入を補助

「補聴器を購入したいけれど、お金がなく、苦しいとの声が届いております。認知症の予防にもなる。公的補助制度を設立すべき」(2019年6月議会)と提案して、2021年度から実施。



物価高騰対策
市へ緊急申し入れ

地域を守る、頼れる相談相手

- 高齢者へバス・モノレールの交通費補助を

自民の妨害
はねのけて 文化芸術劇場
「なは一と」建設

「拙速」と自民が妨害。私は文化関係者、多くの団体、市民と力をあわせて、「事業を中止した場合は、市民会館がない状態が8年、10年続く」(2017年12月議会)と早期建設を求めて、2021年10月オープンに。

第一牧志公設市場
建て替えオープン

「事業者の多くの皆さんは、今のままの公設公営を望んでいます」(2010年6月議会)——地域のみなさんと力あわせて公設市場が「公設公営」で存続し、建て替えオープンに。



伝統文化を守る

- 国指定重要文化財新垣家住宅の修繕。
- 壺屋焼陶工による首里城正殿龍頭棟飾の復元・製作に携わる。
- 壺屋焼物博物館に障害者用駐車場の設置など、提案して実現。
- 文化財保護が壺屋のホタルを守ることにすると古い擁壁の小修繕費用補助を提案。

核も基地もない平和で豊かな沖縄を
亡き父・前田政明(元県議)の思い引き継いで



私の亡き父・前田政明のライフワークは平和運動でした。早朝に県道104号線越えの砲撃演習があれば、私たちを連れて抗議行動に駆けつけました。42年間続く核兵器廃絶を目指す県庁一周昼休みデモが台風で中止になりそうになったとき、私たち家族だけで歩いたこともありました。「核も基地もない平和で豊かな沖縄をつくる」ことが父の口癖でした。道半ばで成し遂げられなかったこの遺志を、私は引き継いでいます。